

令和6年度使用
小学校用教科用図書
採択参考資料

国 語

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号
2 東書	国語 109・110・209・210・309・310 409・410・509・609
17 教出	国語 111・112・211・212・311・312 411・412・511・512・611・612
38 光村	国語 113・114・213・214・313・314 413・414・513・613

国 語

I 教科用図書の調査研究に当たって

1 調査対象教科用図書

2 東書 17 教出 38 光村

2 調査研究の観点

- (1) 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することができる内容であるか。
- (2) 内容の程度や学年間の関連が心身の発達段階に応じて配慮され、児童の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。
- (3) [知識及び技能] 及び [思考力、判断力、表現力等] の「A話すこと・聞くこと」「B書くこと」「C読むこと」の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。
- (4) 文字や表記等が適切であり、我が国の言語文化を継承・発展させる態度を育成することへの配慮がなされているか。

3 調査研究に対する基本的な考え方

- (1) 偏りのない公正な立場で調査研究を行っている。
- (2) 調査研究の資料を通して、教科用図書の特徴が明らかになるように配慮している。
- (3) 記述に当たっては、教科用図書の内容を具体的に取り上げるようにし、調査員の主観に陥らないようにしている。
- (4) 採択の関係者が、見やすく分かりやすいように配慮している。

II 採択参考資料の見方について

1 各教科用図書の発行者の記載順序は、発行者の番号順としている。

2 各教科用図書の調査票は、記載順序に従って配列してある。

3 調査票の調査研究項目は、調査研究の観点についてまとめている。

- (1) 概括的な調査研究…………… 観点(1)(2)
 - ① [知識及び技能] の3事項教材数
 - ② [思考力、判断力、表現力等] の3領域教材数
 - ③ 読書指導について(紹介されている図書の冊数)
- (2) 児童の実態等に応じる適切な配慮について…………… 観点(2)
 - ① サイズ・ページ構成・二次元コード
 - ② 表記等
- (3) 学習過程について…………… 観点(3)
 - ① 学習の見通し
 - ② 学習活動の取組のポイント
 - ③ 学習の振り返り
- (4) 語彙指導について…………… 観点(4)
- (5) 情報の扱い方について…………… 観点(3)
- (6) 付録・資料…………… 観点(2)

[調査票] 【2 東書】 (小学校 国語)

1 概括的な調査研究

(1) [知識及び技能] の3事項教材数 (上巻/下巻)

学 年	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項		(2)情報の扱い 方に関する事項	(3)我が国の言語文化に関する事項		合 計
	言 葉	漢 字		伝統的な 言語文化	読 書	
1 年	18 / 9	0 / 4	0 / 0	0 / 1	1 / 1	34
2 年	10 / 5	5 / 6	1 / 2	1 / 1	1 / 1	33
3 年	5 / 6	5 / 5	1 / 2	3 / 4	2 / 1	34
4 年	4 / 5	7 / 5	1 / 2	3 / 2	2 / 1	32
5 年	8	10	3	7	3	31
6 年	9	9	3	7	3	31
合 計	79	56	15	29	16	195

※事項別の主な教材数。巻末資料や付録に掲載されているものは含まない。

(1)「言葉」……言葉の働き、話し言葉と書き言葉、語彙、文や文章、言葉遣い、表現の技法

(3)「伝統的な言語文化」……伝統的な言語文化、言葉の由来や変化

(2) [思考力、判断力、表現力等] の3領域教材数 (上巻/下巻)

学 年	A 話すこと・聞くこと		B 書くこと		C 読むこと		合 計
	話すこと 聞くこと	話し合うこと	説明的な文章	実用的な文章 文学的な文章	説明的な文章	文学的な文章	
1 年	6 / 3	0 / 0	1 / 2	2 / 3	3 / 2	4 / 4	30
2 年	3 / 2	1 / 0	2 / 1	1 / 2	2 / 3	4 / 2	23
3 年	2 / 1	1 / 0	1 / 2	2 / 1	2 / 2	4 / 2	20
4 年	1 / 2	1 / 1	1 / 1	2 / 2	2 / 2	4 / 2	21
5 年	4	1	3	2	4	5	19
6 年	2	3	3	2	4	6	20
合 計	26	8	17	19	26	37	133

※領域別の主な教材数。巻末資料や付録に掲載されているものは含まない。

(3) 読書指導について (紹介されている図書の冊数) (上巻/下巻)

学 年	本 編		資料・付録		合 計
	文学的文章	説明的文章	文学的文章	説明的文章	
1 年	15 / 62	1 / 15	0 / 0	0 / 0	93
2 年	44 / 19	14 / 8	0 / 0	0 / 0	85
3 年	54 / 10	6 / 22	0 / 0	0 / 0	92
4 年	62 / 22	14 / 9	0 / 0	0 / 0	107
5 年	67	22	0	0	89
6 年	66	24	0	0	90
合 計	421	135	0	0	556

2 児童の実態等に応じる適切な配慮について

(1) サイズ・ページ構成・二次元コード

学 年	上巻(B5判)				下巻(B5判)				上下巻
	本 編	付録	計	二次元コード	本 編	付録	計	二次元コード	合 計
1 年	129	15	144	27	144	28	172	32	316
2 年	138	22	160	53	137	31	168	45	328
3 年	149	19	168	51	133	37	170	52	338
4 年	147	21	168	57	131	29	160	53	328
5 年	267	29	296	97					296
6 年	267	29	296	94					296

(2) 表記等

- ユニバーサルデザインの観点を取り入れている。植物油インキが使用されている。
- 第1学年では、語や文節の途中で改行されないように文字数が調整されている。また、全学年の物語・説明的文章の脚注罫線に、5行ごとの行字数と1行の点（・）が示されている。

3 学習過程について

(1) 学習の見通し

- 第2学年以上の各巻の冒頭に「国語の学習の進め方」「言葉の力を集めよう」が示されている。
- 各単元の冒頭に学習過程が示されている。
 - ・「見通す」「取り組む」「振り返る」の3項目で構成されている。「見通す」に既習事項の想起を促す「思い出そう」が示されている。
- 「学習の流れ」として学習活動の内容が示されている。
- 最初に単元の導入ページがあり、「言葉の力」として身に付けさせる言葉の力が示されている。

(2) 学習活動の取組のポイント

- 単元のねらいに近付くための課題が「取り組む」として設けられ、それを解決するための言語活動が示されている。
- 学習過程を示したページに、各学習活動に取り組むためのポイントやヒントが文章やイラスト、図等を用いて示されている。

(3) 学習の振り返り

- 「振り返る」では、振り返りの観点と単元を通して身に付けさせる「言葉の力」が示されている。
- 「生かそう」では、他教科等の学習や日常生活に生かす場面について示されている。

4 語彙指導について

- 巻末資料に「言葉の広場」として、「思考に関わる言葉」や「原因と結果を表す言葉」等、各学年の指導事項に合わせた言葉が示されている。
- 学習用語が「学習で使う言葉」として示されている。
- 第2学年以上の各学年4か所に、四季折々の言葉が「季節の足音」として示されている。

5 情報の扱い方について

- 第2学年以上に「情報のとびら」として情報の扱い方に関する小単元が位置付けられている。
- 図化・表化等、情報を視覚的に表しながら思考を整理する方法が示されている。

6 付録・資料

- 「付録」として以下の資料が示されている。
 - ・「デジタル資料を活用しよう」
 - ・読書教材
 - ・「学習で使う言葉」学習用語のまとめ
 - ・「言葉の広場」学年の指導事項に合わせた語彙
 - ・『「言葉の力」のつながり』身に付けさせたい力の系統性
 - ・「新しく習った漢字」「小学校で習う漢字」漢字一覧表
 - ・「ローマ字の表」ローマ字一覧表（3年以上）
- 学習の参考となる資料を閲覧することができる二次元コードが示されている。

1 概括的な調査研究

(1) [知識及び技能] の3事項教材数 (上巻/下巻)

学 年	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項		(2)情報の扱い 方に関する事項	(3)我が国の言語文化に関する事項		合 計
	言 葉	漢 字		伝統的な 言語文化	読 書	
1 年	17 / 3	0 / 4	0 / 5	0 / 2	2 / 1	34
2 年	4 / 2	5 / 4	5 / 4	3 / 1	1 / 1	30
3 年	5 / 3	4 / 3	7 / 4	2 / 4	2 / 1	35
4 年	3 / 4	4 / 4	6 / 4	3 / 3	2 / 1	34
5 年	5 / 4	4 / 3	5 / 3	3 / 3	1 / 1	32
6 年	3 / 1	6 / 6	4 / 4	3 / 2	2 / 1	32
合 計	54	47	51	29	16	197

※事項別の主な教材数。巻末資料や付録に掲載されているものは含まない。

(1)「言葉」……言葉の働き、話し言葉と書き言葉、語彙、文や文章、言葉遣い、表現の技法

(3)「伝統的な言語文化」……伝統的な言語文化、言葉の由来や変化

(2) [思考力、判断力、表現力等] の3領域教材数 (上巻/下巻)

学 年	A 話すこと・聞くこと		B 書くこと		C 読むこと		合 計
	話すこと 聞くこと	話し合うこと	説明的な文章	実用的な文章 文学的な文章	説明的な文章	文学的な文章	
1 年	5 / 2	0 / 0	2 / 3	2 / 2	2 / 3	7 / 3	31
2 年	3 / 1	0 / 1	2 / 3	2 / 1	1 / 3	5 / 4	26
3 年	3 / 1	0 / 2	2 / 0	2 / 2	1 / 2	4 / 3	22
4 年	3 / 3	0 / 1	3 / 1	2 / 1	1 / 2	7 / 4	28
5 年	3 / 2	1 / 0	1 / 2	3 / 0	2 / 2	4 / 3	23
6 年	2 / 0	1 / 1	1 / 2	2 / 2	1 / 2	4 / 3	21
合 計	28	7	22	21	22	51	151

※領域別の主な教材数。巻末資料や付録に掲載されているものは含まない。

(3) 読書指導について (紹介されている図書の冊数) (上巻/下巻)

学 年	本 編		資料・付録		合 計
	文学的文章	説明的文章	文学的文章	説明的文章	
1 年	26 / 9	3 / 6	9 / 25	4 / 3	85
2 年	25 / 9	5 / 3	21 / 23	5 / 8	99
3 年	13 / 10	4 / 2	26 / 25	2 / 3	85
4 年	12 / 6	5 / 6	16 / 24	10 / 3	82
5 年	10 / 7	4 / 2	26 / 22	2 / 8	81
6 年	10 / 9	4 / 3	21 / 26	5 / 2	80
合 計	146	47	264	55	512

2 児童の実態等に応じる適切な配慮について

(1) サイズ・ページ構成・二次元コード

学 年	上巻(B5判)				下巻(B5判)				上下巻
	本 編	付録	計	二次元コード	本 編	資付録	計	二次元コード	合 計
1 年	123	12	135	5	140	35	175	15	310
2 年	126	37	163	13	144	23	167	13	330
3 年	138	25	163	14	124	35	159	13	322
4 年	143	40	183	18	134	40	174	19	357
5 年	134	49	183	17	128	31	159	14	342
6 年	116	43	159	18	126	41	167	18	326

(2) 表記等

- ユニバーサルデザインの観点を取り入れている。植物油インキが使用されている。
- 第1学年では、語や文節の途中で改行されないように文字数が調整されている。

3 学習過程について

(1) 学習の見通し

- 各巻の冒頭に「○年生で学ぶこと」が示されている（第1学年上巻を除く）。
 - ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3領域と知識及び技能の2事項が示されている。
- 各単元の冒頭または終末に学習過程が示されている。
- A領域、B領域では「学習の進め方」として学習活動の内容が示されている。
- C領域では「確かめよう」「くわしく読もう」「まとめよう」「つたえよう」の見出しとともに、学習活動の内容が示されている。

(2) 学習活動の取組のポイント

- C領域の学習過程を示したページの下段に、各学習活動に取り組むためのポイントやヒントが文章やイラスト、図などを用いて示されている。
- 学習のポイントがキャラクターの会話の中に示されている。

(3) 学習の振り返り

- 「ふり返ろう」では、単元のねらいや学習活動に対応した観点が示されている。
- 「ここが大事」では、単元のねらいに対応した学習のポイントについて示されている。

4 語彙指導について

- 各単元において、「言葉」として文脈の中での特徴的な語句の使い方が示されている。
- 巻末資料に「言葉の木」として、各学年の指導事項に合わせた言葉が示されている。また、『大事な言葉』を確かめよう」として、文型が示されている。
- 学習用語が、「学ぶときに使う言葉」として示されている。

5 情報の扱い方について

- 巻末資料に「情報のまとめ」として、情報の扱い方に関する教材を位置付けている。
- 図化・表化等、情報を視覚的に表しながら思考を整理する方法を示されている。

6 付録・資料

- 「付録」として以下の資料が示されている。
 - ・「楽しく読もう」読書教材
 - ・「言葉の木」学年の指導事項に合わせた語彙
 - ・「学ぶときに使う言葉」学習用語のまとめ
 - ・『『大事な言い方』を確かめよう』学年の指導事項に合わせた文型
 - ・『『ここが大事』のまとめ』身に付けさせたい力の系統性
 - ・「漢字を学ぼう」「小学校で学んだ漢字」漢字一覧表
 - ・「ローマ字表」ローマ字一覧表（3年）
- 学習の参考となる資料を閲覧することができる二次元コードが示されている。

1 概括的な調査研究

(1) [知識及び技能] の3事項教材数 (上巻/下巻)

学 年	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項		(2)情報の扱い 方に関する事項	(3)我が国の言語文化に関する事項		合 計
	言 葉	漢 字		伝統的な 言語文化	読 書	
1 年	17 / 10	0 / 1	0 / 0	3 / 2	2 / 1	36
2 年	2 / 4	5 / 4	2 / 0	4 / 4	3 / 0	28
3 年	4 / 3	3 / 4	2 / 0	4 / 4	2 / 0	26
4 年	3 / 3	3 / 4	2 / 0	3 / 4	2 / 0	24
5 年	6	7	2	9	2	26
6 年	6	7	2	7	2	24
合 計	58	38	10	44	14	164

※事項別の主な教材数。巻末資料や付録に掲載されているものは含まない。

(1)「言葉」……言葉の働き、話し言葉と書き言葉、語彙、文や文章、言葉遣い、表現の技法

(3)「伝統的な言語文化」……伝統的な言語文化、言葉の由来や変化

(2) [思考力、判断力、表現力等] の3領域教材数 (上巻/下巻)

学 年	A 話すこと・聞くこと		B 書くこと		C 読むこと		合 計
	話すこと 聞くこと	話し合うこと	説明的な文章	実用的な文章 文学的な文章	説明的な文章	文学的な文章	
1 年	6 / 2	0 / 1	1 / 3	2 / 2	1 / 2	4 / 4	28
2 年	4 / 1	0 / 1	2 / 1	3 / 3	3 / 2	3 / 4	27
3 年	1 / 1	2 / 1	1 / 2	3 / 2	2 / 2	4 / 4	25
4 年	3 / 1	0 / 1	1 / 2	3 / 2	3 / 2	1 / 4	23
5 年	3	2	6	4	4	7	26
6 年	3	2	4	4	4	7	24
合 計	25	10	23	28	25	42	153

※領域別の主な教材数。巻末資料や付録に掲載されているものは含まない。

(3) 読書指導について (紹介されている図書の冊数) (上巻/下巻)

学 年	本 編		資料・付録		合 計
	文学的文章	説明的文章	文学的文章	説明的文章	
1 年	17 / 12	2 / 5	10 / 7	0 / 3	56
2 年	15 / 16	8 / 4	12 / 11	9 / 6	81
3 年	10 / 16	16 / 11	12 / 10	12 / 7	94
4 年	11 / 16	7 / 7	10 / 10	13 / 7	81
5 年	24	10	21	19	74
6 年	34	19	31	17	101
合 計	171	89	134	93	487

2 児童の実態等に応じる適切な配慮について

(1) サイズ・ページ構成・二次元コード

学 年	上巻(B5判)				下巻(B5判)				上下巻 合 計
	本 編	付録	計	二次元コード	本 編	付録	計	二次元コード	
1 年	121	11	132	16	125	15	140	9	272
2 年	140	24	164	9	136	32	168	11	332
3 年	138	25	163	11	138	30	168	11	331
4 年	132	27	159	9	144	31	175	13	334
5 年	250	44	294	25					294
6 年	260	52	312	24					312

(2) 表記等

- ユニバーサルデザインの観点を取り入れている。植物油インキが使用されている。
- 第1学年から第2学年の上巻まで、語や文節の途中で改行されないように文字数が調整されている。

3 学習過程について

(1) 学習の見通し

- 各巻の冒頭に「国語の学びを見わたそう」「〇年で学ぶこと」「前学年で学んだこと」(2年以上)が示されている。
- 各単元の冒頭または終末に学習過程が示されている。
 - ・各単元の冒頭に既習事項を確認する「これまでの学習」(2年以上)が示されている。
- 全領域で「見通しをもとう」として問いと目標、学習活動の内容が示されている。
- C領域では、ページ上段に「とらえよう」「ふかめよう」「まとめよう」「ひろげよう」の学習活動が示されている。

(2) 学習活動の取組のポイント

- 学習過程を示したページの下段に、各学習活動に取り組むためのポイントやヒントが文章やイラスト、図等を用いて示されている。
- 学習のポイントがキャラクターの会話で、文例とともに示されている。

(3) 学習の振り返り

- 「ふりかえろう」では、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点で示されている。
- 「たいせつ」では、学習のポイントについて、「いかそう」では、他教科や日常生活で活用できる場面について示されている。

4 語彙指導について

- 巻末資料に「言葉の宝箱」として、各学年の指導事項に合わせた、人物や事柄、心情を表す言葉が示されている。
- 学習用語が「学習に用いる言葉」として示されている。
- 第2学年以上の各学年4か所に、四季折々の言葉が「季節の言葉」として示されている。

5 情報の扱い方について

- 第2学年以上の各学年に「情報」として、「情報の扱い方」に関する小単元が位置付けられている。
- 図化・表化等、情報を視覚的に表しながら思考を整理する方法が示されている。

6 付録・資料

- 「付録」として以下の資料が示されている。
 - ・『『たいせつ』のまとめ 身に付けさせたい力の系統性
 - ・「本の世界を広げよう」読書教材
 - ・「言葉の宝箱」学年の指導事項に合わせた語彙
 - ・「これまでに習った漢字」「この本で習う漢字」漢字一覧表
 - ・「課題の見つけ方、調べ方」デジタル資料
 - ・「平仮名と片仮名」デジタル資料
 - ・「ローマ字の表」ローマ字一覧表(3年以上)デジタル資料
- 学習の参考となる資料を閲覧することができる二次元コードが示されている。